

# ここちよさ

から

## 新たな価値を生み出す

立命館と産総研は、企業ニーズを中心に共同研究を行う「Lcede-BIL」を設立しました。滋賀県や草津市を対象に、企業ニーズや地域課題を吸い上げ、「ここちよさ」を新たな付加価値とした研究開発を通じて地域企業の事業化支援、新産業創出、地域経済活性化、地域課題の解決を目指します。

### 立命館・産総研

### ライフセントリックデザイン

### ブリッジ・イノベーション・ラボラトリ



滋賀県には高い技術力を持つ中堅・中小企業が多く、県内総生産に占める第二次産業の割合は全国1位となっており、地域経済を支えています。

国際競争が激化する今、製品の差別化と高付加価値化が重要です。Lcede-BILは産総研と立命館が地域ニーズを踏まえ、「ここちよさ」を新たな付加価値とした製品・サービスを創出する「ライフセントリックデザイン」に関する共同研究を行います。

ライフセントリックデザイン：複雑化する生活者の意識に視点をおき、人の生活の価値を高める製品・サービスを創出すること

ブリッジ・イノベーション・ラボラトリ：産総研が企業ニーズを核とした研究開発を地域大学や自治体等と連携して実施するもので、その成果の橋渡しを通じた地域企業の事業化支援による新産業創出、地域経済活性化および地域社会課題解決を目指す連携体制。

### ● 感性評価手法を融合した製品開発と事業化支援



感性工学に基づいて、様々な製品の部素材の「ここちよさ」を定量的に計測・評価

### ● 総合知を活用した生活者のニーズ把握

立命館・産総研のもつニーズ抽出のノウハウを活用しながら、研究テーマに関連する企業の製品分野についての地域の生活者と直接コミュニケーションをとることで、「ここちよさ」についての潜在的なニーズを見出し、より早く社会実装につなげます。



## ● 研究開発の実施内容

産総研の材料開発と立命館の感性評価を融合し、「こちよさ」を付加価値とするものづくりを支援します。  
また、感性工学に基づく部素材の「こちよさ」を定量的に評価する研究開発を行います。

### 研究開発コンセプト

#### 視覚から高級感・こちよさを感じる生活関連素材の開発

- ・材料作製・表面加工
- ・物性・構造評価
- ・光空間分布の評価
- ・心理評価
- ・生理評価

視覚に関する  
物性値とこちよさ  
との相関

視覚的に  
こちよさを感じる  
素材・製品の開発

- ・建材（壁紙他）
- ・生活用品  
（食器、インテリア、宝飾品）



### 研究開発コンセプト

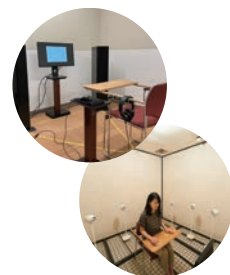
#### 快適音空間をつくる素材・部品の評価・設計

- ・音の配置の空間制御技術
- ・快音化・消音化技術
- ・音響シミュレーション技術
- ・音環境理解技術
- ・音の心理環境評価
- ・騒音調査・解析技術

音の物理特性と  
心理・生理モデル  
の構築

人を快適（こちよく）  
かつ活動的にする  
製品開発・空間設計

- ・電気機器用部品の騒音低減
- ・音空間を快適にする内装品
- ・音による行動・運動変容を  
誘発させる仕組み



### 研究開発コンセプト

#### 触感のよい素材とやわらかさの計測方法の開発

- ・ソフトセンサ等による  
触感に関係する  
物理特性の評価
- ・センサデータ解析による  
触感の評価
- ・手の運動条件を含めた  
触感の評価

評価データの相関・  
機械学習による  
指標開発

さわりごちのよい  
製品の開発

- ・生活用品（家具、リネンなど）
- ・手で触れる外装品  
（携帯電話ケースなど）



あなたの製品や技術に『こちよさ』という  
付加価値を加えてみませんか？

Lcede-BILでは、企業ニーズに寄り添った研究開発を通じて、  
新たな価値創出をサポートします。まずはお気軽にご相談ください！